

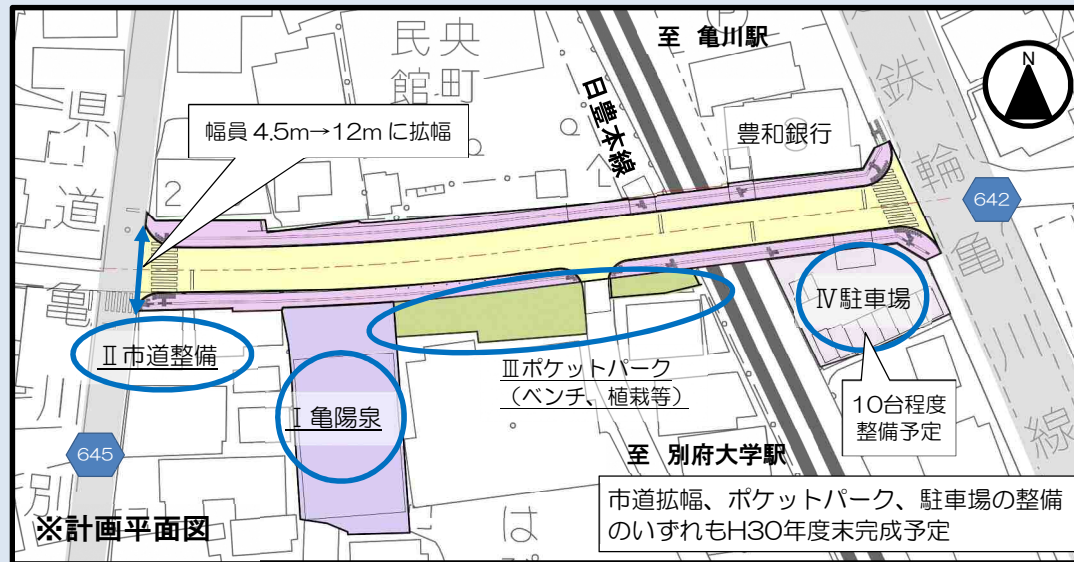
亀川地区都市再生整備計画事業のご紹介

亀川地区は、留学生を含む学生が多く住んでおり、国際的な雰囲気漂う地域で、また、多くの病院施設や障がい者対応の施設も立地しているという特徴を踏まえ「誰もが安心、快適に過ごせる国際性と伝統が共存したまち」を目標に掲げ、地域の交流拠点の整備や市道の拡幅など様々な事業を行っています。

① 亀陽泉周辺の街なみ

- ・ 亀陽泉会館建替（規模：1棟）・ 市道市姫妙診線整備（規模：延長=120m、幅員=12m）
- ・ ポケットパーク整備（規模：600㎡）・ 駐車場整備（規模：480㎡）

地域の交流、賑わい拠点の一つである亀陽泉（市営温泉）の建替えを行い、建替えに併せて、前面市道の拡幅・ポケットパーク・駐車場の整備を行います。亀陽泉はバリアフリー化し、施設内には多目的ホールを設けることで、地域の交流拠点としての役割を担っています。



亀陽泉(整備前)



I 亀陽泉(整備後:H28年度完成)



亀陽泉周辺(整備前)



II 市道の拡幅 4.5m→12m
III ポケットパーク整備
IV 駐車場10台整備

※整備後のイメージ

II 市道整備(幅員の拡幅)



III ポケットパーク



② 市道の一部拡幅(亀川中央町ピッコ広場前)

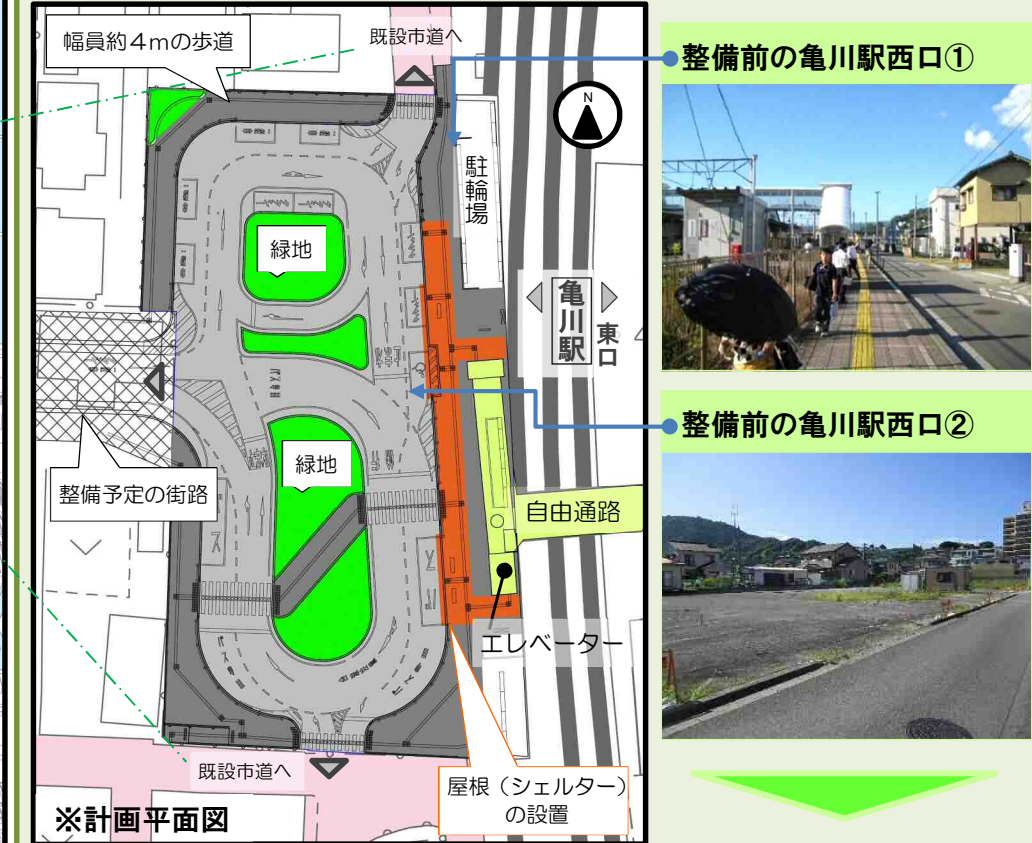
市道県道妙診線整備（規模：延長 40m 幅員 5.5m）
幅員の狭い本市道は、通学路として指定されている一方、県道の抜け道として自動車交通量が多いことから、一部を拡幅することで、離合スペースの確保をしました。(幅員3.5m→5.5m)



③ 亀川駅西口駅前広場

亀川駅西線（駅前広場整備）（規模：3,000㎡）
H22年度に亀川駅の東西を結ぶ自由通路（跨線橋）が完成し、西側からの駅利用者が増加しており、また、多くの病院や障がい者対応の施設もあることから、西口に東口と同じような駅前広場の整備をすることで、バリアフリー化します。また、将来的にはバスの進入も可能となります。

～西口駅前広場はロータリーとして、バス、タクシー、一般車の乗降場等が整備されます～



※整備後のイメージ(写真は整備後の東口)

◆一部を残してH30年度末までに暫定型の整備を行います